

第22回

気象サイエンスカフェ in 名古屋 Zoom

日時：2022年2月13日（日）
午後3時から4時30分まで
(ZOOMを利用した開催)

講師：飯島慈裕先生
(三重大学 生物資源学研究科 教授)



テーマ

東海三県の降雪特性に関する考察

—2017年1月、2021年12月の事例をもとに

要旨：

東海三県の冬季積雪は、寒気吹き出しが若狭湾、琵琶湖を超えて伊吹山、関ヶ原方面に至る事例と、養老山地と鈴鹿山脈間のいなべ、四日市に抜ける事例が存在し、太平洋側で豪雪となる可能性がある地域である。記憶に新しい2017年1月や2021年12月は彦根や三重県側での局地的な積雪が現れた。

本講演では、日本海の日本海寒帯気団収束帯の位置と上空の風系、ならびに若狭湾から伊勢湾にかけての大気場との関係から、豪雪になりやすい状況と、実際に降雪があった場合の雲や降水状況について紹介し、東海地域の降雪特性の理解を深めることを目的とする。

定員：60名（先着順）

参加費：無料

申込方法：メールにて、s_cafe_nagoya@yahoo.co.jp 日本気象予報士会東海支部 加藤あて。件名を「気象サイエンスカフェ参加希望」とし、本文に住所、氏名、所属（気象予報士会会員、大学生、自治体、会社員等）メールアドレスを記載の上、個人ごとにお申し込み下さい。

ZOOMでの参加方法は、申し込み受付後にご案内します。

(申込時に記載された個人情報はサイエンスカフェ参加の連絡以外では使用しません)

主催 (公社) 日本気象学会中部支部、(一社) 日本気象予報士会東海支部